

※止め金は実際は黒ではありません

下準備

①ケースより500枚束を取り出します。



②100～200枚程を中央より二つ折りにします。



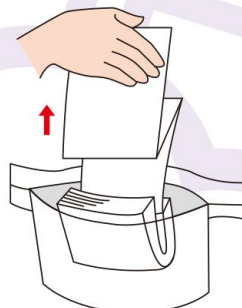
③折ったまま前掛けなどに入れ、内側より連続して袋を取り出します。



※袋が逆(底の方)から出てくる場合は、束を裏返してご使用下さい。

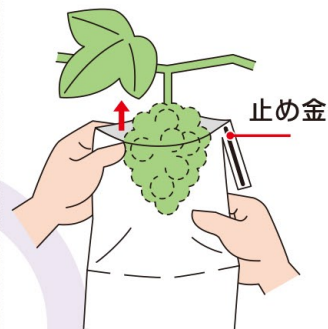


1



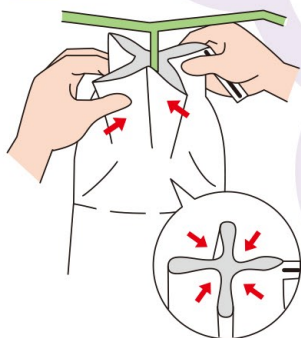
袋がつながっているので、次の袋を取る手間がなく、袋かけ効率がスピードUPします。

2



あらかじめ止め金を外して袋をふくらませ、房が中心に来るように包みます。
※袋は最後に切り離します

3



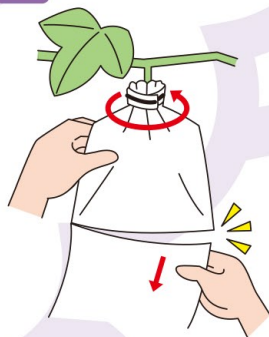
袋の口を十字にしぼり寄せます。

4



虫や雨水が入らないように、口をしっかりと絞ります。

5

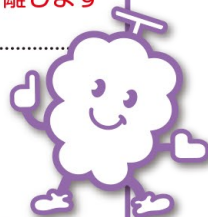


止め金を巻き付け固定し、掛けた袋を持って、次の袋を切り離します。

6



雨水が溜まらないように、袋の形を整え完了です。



● かけ袋を安全に使用していただくために

1. この袋は果実生育期間中の保護袋です。用途以外の使用はご遠慮ください。
2. 初めてご使用される場合は、試し掛けをしてからご使用ください。
3. 袋かけ及び除袋の時期は地域の指導に従ってください。
4. 袋かけの時に、止め金で指を傷つけることがありますので十分ご注意ください。(指サックなどの使用をおすすめします)
5. 袋かけ作業時には、袋や指を口に含まないようご注意ください。
6. 袋かけ作業後は、石けんにて手洗いを十分行なってください。
7. 袋かけ作業中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を止めてください。場合によっては医師の診断を受けてください。

かけ袋の保管について

果実袋はお子さんの手の届かないところに保管してください。

水漏れ注意。直射日光を避け、風通しの良い冷暗所に保管してください。

江見製袋株式会社

〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町856 TEL0942-82-2968 FAX0942-83-2956

<http://emiseitai.co.jp>



YouTube かけ方動画配信中

袋かけの手順を動画で解説しています。左のQRコードもしくは江見製袋ホームページよりご覧いただけます。